

助産雑誌 Back Number

★バックナンバーの取り扱いについて

①2014年7月号以降の雑誌は、医学書院受注センター(TEL: 03-3817-5666)にて承ります。

②それ以前の号についてのご注文や在庫のご照会などは、下記へお願いいたします。

株式会社東亜ブック

〒178-0061 東京都練馬区大泉学園町 5-27-11

TEL: 03-5947-4781 FAX: 03-3923-4539

2016年6月号



特集

**次世代につなげる妊婦の栄養指導
厳しい体重増加制限のもとらす危険性**

出生体重が小さいと、成人後に生活習慣病を含めた成人病や精神疾患を発症するリスクが高いことが明らかとなっています。出生体重低下の流れを阻止することは、社会全体で取り組むべき日本の最重要課題です。改めて、妊婦栄養について考えてみませんか。

2016年5月号



特集

**胎児心拍数モニタリングを極める
見逃してはいけないCTG波形**

胎児心拍陣痛図(CTG)は、判読者の力量によって、正常か異常か迷うことが少なくありません。そこで本特集では、なぜそのCTG波形が出現するのかを、生理学的な側面から復習するとともに、実際の症例から、絶対に見逃してはいけない徴候を学びます。

2016年4月号



特集

**制度の根底にあるもの・期待されること
アドバンス助産師の誕生**

2015年に運用が開始された、助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー)®(Clinical Ladder of Competencies for Midwifery Practice: CLoCMiP®)レベルⅢ認証制度について解説します。初年度は5562名の「アドバンス助産師」が誕生しました。

2016年3月号



特集

**遺伝カウンセラーとは異なる
出生前検査における助産師の役割**

2012年にいわゆる新型出生前診断(NIPT)の開始が報道され、社会と医療現場は混乱をきたしました。現在でも、カウンセリングを含めた体制整備が十分ではない状況です。遺伝カウンセラーとはまた別の、身近な相談者としての助産師の役割を考えます。

2016年2月号



特集

**新生児の疾患とその徴候
見逃してはいけない異常徴候**

出生直後の入院中に助産師が感じた「なんとなく具合が悪そう……」という印象が、新生児を疾患から救う第一歩になります。何らかの兆しに気づくことで、高次施設へつなぐ時期が早まるかもしれません。異常徴候を見逃さない、観察のポイントを解説します。

2016年1月号



特集

**70巻記念号
『助産雑誌』と私の歩み**

1952年の創刊から64年。多くの方々に支えられ70巻を迎えることができました。その記念に、小誌に縁の深い方々に、小誌のかかわりや、思い出をつづっていただきました。助産師の過去、そしてこれから訪れる未来に、思いを馳せた特集です。

2015年 特集

12月号 バースレビューの心得

11月号 新しい視点で保健指導を変えよう！

10月号 「特定妊婦」にどうかかわる？ 助産師ができる支援とは

9月号 効果的な実習指導をしよう！ 学校とともに学生を支援する

8月号 妊娠高血圧症候群2015 知識と支援をアップデートしよう！

7月号 助産師が専門職としてかわるべき母乳育児支援 「寄り添う」とはどうすることか

6月号 地域でつくる妊娠から育児までの切れ目ない支援 今、注目の日本版ネウボラとは